

令和6年度事業計画

(1)会議の開催

ア 必要に応じて、理事会及び各員会等の会議等を開催する。

イ ガバナンス・コンプライアンス・広報マーケティング研修を実施する。

(2)事業部

●国内大会委員会

(主) 伊藤博之

委員 宮林浩 富岡勇人

・大会の開催

ア 2025年 全日本卓球選手権大会(一般の部)第2回 予選会(肢体の部)

日時 令和6年6月28日(土)

場所 味の素ナショナルトレーニングセンター

イ 第16回全日本パラ卓球選手権大会(肢体の部)

日時 令和6年9月27日(金)～9月29日(日)

場所 北区赤羽体育館

ウ 第3回ダブルス交流大会(予定)

日時 調整中 令和6年11月予定

場所 調整中

エ 第45回全日本オープンパラ卓球選手権大会

日時 令和7年3月15日(土)～16日(日)

場所 グリーンアリーナ神戸 (兵庫県)

オ 組合せ

申込締め切り後に、確認作業・組合せを行う。

組合せ、タイムテーブルについては、開催40日前にHP掲載に努める。

※自宅作業・パラサポでの作業を行う。

●普及委員会

(主) 伊藤博之

委員 宮林浩 富岡勇人 大木麻実

・普及啓発活動の実施

・各県の障がい者スポーツ協会、行政等など関係団体と連携し、依頼があった事業については、積極的に協力を行う。

・普及イベントの開催については、初めてパラスポーツに触れる人たちが、よりライトに取り組めるようパラ卓球の医科学サポートチーム・強化も合流し、スポーツの成功体験など

を日本代表・元日本代表が丁寧にサポートを行う。

・J-STAR 事業の実施

ア パラスポーツ・スタートアップサポートプロジェクト in OKINAWA

日 程 調整中

場 所 調整中

イ パラスポーツ・スタートアップサポートプロジェクト in HIRADO

日 程 調整中

場 所 調整中

※体験会・講習会を実施。

●広報・マーケティング委員会

(主) 龍信之助

委員 坂井一也 立石イオタ良二

・渉外活動の推進

広報担当 新藤遼介 丸山裕理

※ 別紙参照 報告・提案資料 2

●ガバナンス担当

委員 石堂典秀 高松政裕 宮林浩

・ガバナンスコードに沿った規程等を整備、協会運営の安定、基盤づくりを進める。

(3)強化部

●強化委員会

(主) 宮崎義仁

委員 坂井一也 羽生綾子 森園美咲 山本恒安 森田匡則

ア 強化委員会の体制

ハイパフォーマンスディレクター(強化責任者) 宮崎義仁

ナショナルチームヘッドコーチ 羽生綾子

ナショナルコーチ(立位監督) 森園美咲

ナショナルコーチ(車いす監督) 山本恒安

情報・科学スタッフ 森田匡則

チームドクター 大野洋平

パラスポーツトレーナー 池田竜士

ナショナルパーソナルコーチ 村上祥 新井卓将 時吉佑一

※その他スタッフの追加の可能性あり。

今後継続的に検討を進めていく。

イ 強化合宿の開催・国際大会派遣

※ 別紙参照 提案資料 2

●選考委員会

(主) 石堂典秀

委員 大野洋平 伊藤博之 羽生綾子

- ・海外派遣選手およびスタッフ等の選考基準の立案
- ・パラリンピックや世界選手権等の大会を見据え、強化方針や国内競争力等の情報を参考にしながら立案する。
- ・令和7年度監督・コーチスタッフ選考および選手選考等の会議を実施

●医科学・クラス分け・アンチドーピング委員会

(主) 大野洋平 小黒 修

委員 小黒修 池田 竜士 大木 麻美 木ノ瀬 翔太 木勢 峰之 山田 哲也
平賀 聡哉

ア 一般会員対象の事業

- ・国内クラス分け: 継続して行う。スタッフのクラス分けについての教育活動を行う(国際クラス分けセミナーへの参加支援を含む)。
- ・トレーニング指導: 障害特性に応じたトレーニングやセルフケアの指導を行う。

イ 海外派遣選手およびスタッフ対象の事業

- ・健康管理: メディカルチェック、個別指導、合宿などでの講義、必要に応じ専門科への受診などを促す。
- ・トレーニング指導 : 障害特性に応じたトレーニングやセルフケアの指導を行う。
- ・アンチドーピング : 講義などの教育活動、個別相談、TUE 申請、RTPA 対象選手のサポートなどを行う。
- ・国際クラス分け : 強化スタッフへ選手の障害特性やクラス分けについて講義・解説を行う。海外派遣選手およびスタッフへ国際クラス分け対象選手のサポート(診断書作成、クラス分けの陪席など)を行う。

ウ 学会発表支援・資格取得支援

- ・他競技から障がい者スポーツにおける医科学に関する知識を吸収し、肢体不自由卓球についての学術的知見を報告するため、日本障がい者スポーツ学会等に参加し可能な限り

発表を行う。

・パラスポーツトレーナー、国際クラシファイアなどの資格取得の支援を行う。

エ 取材・メディア対応

・パラ卓球の啓蒙のためメディアなどへの取材や協会の発信活動に協力する。

●アスリート委員会(令和6年度より設置予定)

(担当)石堂典秀 高松政裕

委員 調整中

(4) コンプライアンス委員会

(主) 高松政裕

委員 中川義宏 白石三重子 石堂典秀

(他)

課題解決型アスリート育成パスウェイ構築支援プログラム事業

2年事業の最終年となる今年度も、地方公共団体と連携した育成環境の整備を実施する。昨年度の4地域に加え、新たに6地域との連携を目標に取り組み(2年間10地域)、各地での活動拡充および地域間の連携強化につながる取り組みを推進する。具体的な活動内容は以下の通り。

- * 新規連携地域の練習環境の整備
(定期練習場所・地域指導者の確保、備品貸出、視聴覚ツールの配布など)
- * 既連携地域における練習環境のフォローアップ(不足備品の追加など)
- * NF コーチ・スタッフによる巡回指導(既連携地域含む)
- * 近隣地域における合同イベント(試合・練習など)の実施
- * 既存のオープン大会への参加
- * 各地の状況に応じた拡充策の検討・実施(人数増員・練習回数増加など)